

# YAMAHA ADPCM ACM Driver ユーザーズマニュアル

Ver.1.0.0

2005/3/18

ヤマハ株式会社

本書の著作権は、ヤマハ株式会社に属しています。  
本書の内容の転載・一部複製には、ヤマハ株式会社の承諾が必要です。  
また、本書の内容は予告なく変更される場合があります。



Copyright© 2005 YAMAHA CORPORATION  
All rights reserved.

## はじめに

---

YAMAHA ADPCM ACM Driver は、Windows Audio Compression Manager(以下 ACM)形式の、YAMAHA ADPCM フォーマット CODEC です。

本ドライバを組み込むことで、ACM 対応ソフトウェアでの YAMAHA ADPCM フォーマットに変換することができます。

## 推奨動作環境

---

本オーサリング・ツールの推奨動作環境は以下に示す通りです。

対応 OS	Microsoft® Windows® 2000
	Microsoft® Windows® XP

【Note】 本マニュアルで使用されているすべての製品名は、各社の商標および登録商標です。

# 目次

---

1. インストール.....	5
2. ADPCM に変換してみよう.....	6
2.1. PCM ファイルの準備 .....	6
2.2. サウンドレコーダーで開く.....	7
2.3. YAMAHA ADPCM フォーマットで保存 .....	7

## 更新履歴

---

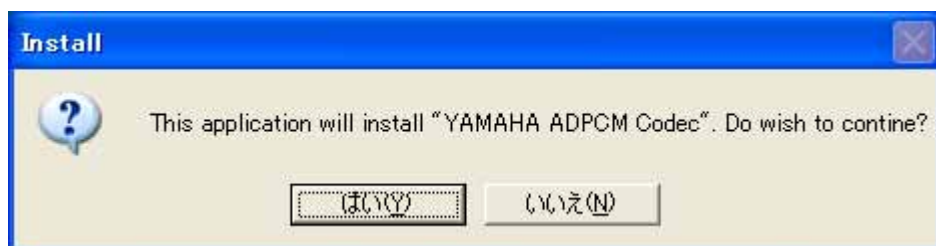
版	日付	内容
1.0.0	2005/3/18	初版

# 1. インストール

---

YAMAHA ADPCM ACM ドライバの組み込み方法を説明します。

Install.exe をクリックすると、メッセージボックスが表示されます。



インストールを開始する場合は、「はい」をクリックしてください。ファイルのコピーが開始されます。  
以上で、ドライバの組み込みは終了です。

## 2. ADPCM に変換してみよう

本章では、Windows® XP 標準のサウンドレコーダーを使用して、PCM フォーマットを YAMAHA ADPCM フォーマットに変換する方法を説明します。

### 2.1. PCM ファイルの準備

変換元となる PCM ファイルを準備します。以下のフォーマットで準備してください。

PCM 入力フォーマット		
オーディオサンプルレート	オーディオサンプルサイズ	チャンネル
8.000 kHz	16 ビット	モノラル
8.000 kHz		ステレオ
11.025 kHz		モノラル
11.025 kHz		ステレオ
12.000 kHz		モノラル
12.000 kHz		ステレオ
16.000 kHz		モノラル
16.000 kHz		ステレオ
22.050 kHz		モノラル
22.050 kHz		ステレオ
24.000 kHz		モノラル
24.000 kHz		ステレオ
32.000 kHz		モノラル
32.000 kHz		ステレオ
44.100 kHz		モノラル
44.100 kHz		ステレオ
48.000 kHz		モノラル
48.000 kHz		ステレオ

【Note】 オーディオサンプルレート/オーディオサンプルサイズ/チャンネルは、対象ファイル右クリック  
プロパティ 概要タブ 詳細設定 で確認することができます。

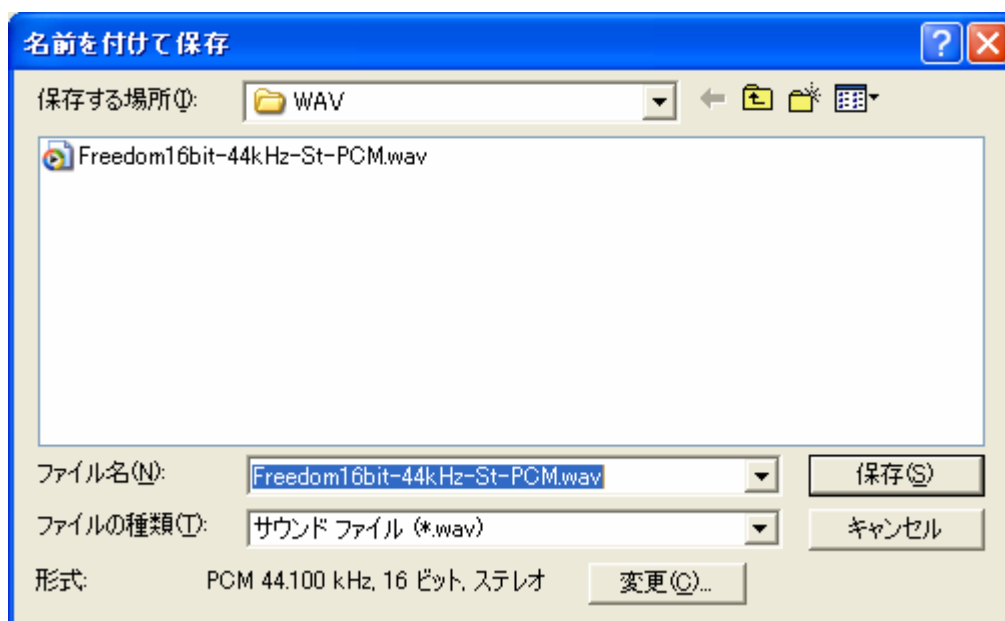
## 2.2. サウンドレコーダーで開く

スタートボタン    すべてのプログラム    アクセサリ    エンタテインメント からサウンドレコーダーを起動して、ファイルメニューから変換元の PCM ファイルを開きます。



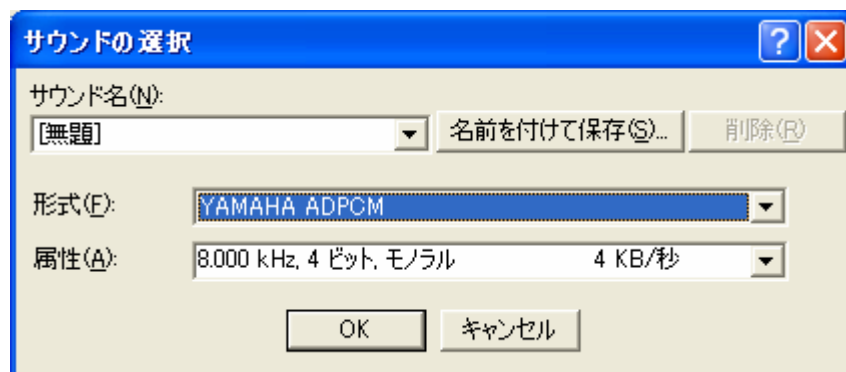
## 2.3. YAMAHA ADPCM フォーマットで保存

ファイル    名前をつけて保存で「名前をつけて保存」ダイアログを表示します。



変更ボタンを押すと「サウンドの選択」が表示されます。

形式を YAMAHA ADPCM、属性で出力したいフォーマットを選択し、OK ボタンで「名前をつけて保存」ダイアログに戻ります。



変更元ファイルを上書きしたくない場合は、ファイル名を修正して保存ボタンを押します。  
YAMAHA ADPCM フォーマットのデータが出力されます。

YAMAHA ADPCM 出力フォーマット		
オーディオサンプルレート	オーディオサンプルサイズ	チャンネル
8.000 kHz	4ビット	モノラル
8.000 kHz		ステレオ
11.025 kHz		モノラル
11.025 kHz		ステレオ
12.000 kHz		モノラル
12.000 kHz		ステレオ
16.000 kHz		モノラル
16.000 kHz		ステレオ
22.050 kHz		モノラル
22.050 kHz		ステレオ
24.000 kHz		モノラル
24.000 kHz		ステレオ
32.000 kHz		モノラル
32.000 kHz		ステレオ
44.100 kHz		モノラル
44.100 kHz		ステレオ
48.000 kHz		モノラル
48.000 kHz		ステレオ